

富士山

中島 満

今年の冬は厳しい寒さでしたね。富士山は世界文化遺産に登録されましたね。標高3,776mの世界一美しい富士山です。季節により揚々な姿を現せてくれる富士山です。また撮る位置により、雲海の姿も美しいし、富士五湖から見る姿はどれも個性のある富士山でもあります。富士山が絵になる写真は、冬場が最適に美しい表現をしてくれます。私が趣味で撮った富士山を紹介させていただきます。



①この富士山は、忍野八海からの、朝焼け(紅富士)の写真です。

日の出を待って、富士山の左角に最初に日が差します。なんとも言いえない深紅色に染まります。わずか5分たらずで富士山が紅色に染まります。

写真で、うまく表現出来なかったのが残念に思っております。下の池を見ますと赤く染まったことが分かると思います。カメラマンが約50名おりました。

気温は、 -15°C くらい、水道は凍ってしまうので、ちょろちょろと民家の人には流しぱなし状態です。忍野の富士は、見る富士山の形は最高に良いです。



②忍野より少し離れた、忍草の富士山です。ここからですと雄大な富士山で実物は、迫力満点の富士山です。



③これも忍草の富士山です。右上に柿の実のしぼんだのが写っています。実際は、この木は桜の木なのです。皆さん工夫をこらして富士山を撮っていることを発見しました。(笑)



④河口湖よりの、逆さ富士です。河口湖からはこの富士山は、俗に鉛色の富士ともよく呼ばれます。この日は曇り空でした。鉛色は当然に出てしまいます。画面中央は、氷がまだとけないうで、残っているのが分かります。



⑤本栖湖からの富士山です。旧の五千円札のモデルになった所からの富士山です。この場所に行きますと、この場所が五千円札をモデルにした場所と、看板が建っております。



⑥モノクロの富士山です。パネルにして大きく伸ばすと、粹な
雰囲気を漂わせる富士山でもあります。



⑦我が住む、守谷市からの、今年の元旦に撮った、夕焼けの富士山です。

ダイヤモンド富士を撮るには、12月の後半になるようです。

レンズは、300mmで撮りました。鉄塔があちらこちらに見られますので

写真を撮るには、よいところではないですね。

千葉県の手賀谷市からですと、スカイツリーを入れた富士山が撮れるそうです。

茨城からでも見られる富士山、やっぱり世界文化遺産登録の価値あり富士山です。